



竜北通信

自学感動

甲斐市立竜王北中学校
学校だより

発行 校長 青柳 香

令和8年度 No. 3

2026. 6. 22

誇りある北中をともに創るために～合唱発表会～

北中には、長きにわたり築かれてきた伝統と、深く根付いた豊かな文化があります。それは、生徒たち、教職員、そして保護者や地域の皆さまが共に培ってきた、私たちの「誇り」です。私たちには、その大切な伝統を守りながらも、未来に向けて新しい風を吹き込んでいく役割があります。

本年度は学園祭の分散開催に伴い、行事の開催時期を見直し、去る 6 月 19 日(金)に合唱発表会を開催いたしました。振り返れば 5 月の生徒会歌の練習に始まり、このところの校内にはいつも心地よく力強い歌声が響いていました。本番を迎えるまでには、学年交歓会や縦割りの「ブロック交歓会」を行い、互いの歌声を真剣に聴き合ってきました。後輩の瑞々しい姿に刺激を受けた学年、先輩の歌声に憧れ、一歩でも近づこうと心をつににした学年——。互いに良い影響を与え合い、試行錯誤を重ねながら自分たちの合唱を磨き上げて当日を迎えました。

当日は、各学級の「本気の想い」が体育館いっぱいに響き渡り、本当に素晴らしい時間となりました。ステージの上で、今の仲間と今しか歌えない歌を堂々と届ける子どもたちの姿は、まぶしいほどに立派で、深い感動を覚えました。各学級・学年の詳しい様子や成長の軌跡については、今後発行される学年だよりや学級通信等をぜひご覧ください。

本紙では、今年度、念願の復活を果たし、全校が一つになる感動的な瞬間を創り出した「全校合唱」について、講師の〇〇先生からいただいたメッセージをご紹介します。

輝かしい全総に続いて、皆さん心をつににしたユニゾン（全員が同じ旋律を歌うこと）の歌声が体中に響き渡ってきます。お互いに支え合い、認め合って成長していくんだ、一人一人が輝く人生を送れるようにというメッセージが伝わってきて、大変感動的な演奏でした。

ブラボーです。素晴らしい演奏でした。客席もシーンと静まり返っていました。ありがとうございました。

前期部活動 ～頑張れ 北中生～

中学生の集大成ともいえる、部活動の総合体育大会が始まりました。「チーム竜北」を合言葉に全校が一つになった壮行会

を経て、6 月 6 日からは熱い支部大会が繰り広げられています。

今年のチームには、例年以上に熱い空気が満ちていました。「この最高の仲間とみんなで県大会へ行き、まだ見ぬ新しい景色を見たい」と決意する 3 年生。そして、その先輩たちの夢と一緒に叶えようと、全力で支え、共に戦った 2 年生。高い目標に向かい、各部で「強化週間」を設け、お互いを激しく鼓舞し合いながら試合に臨みました。

勝負の世界ですから結果として勝敗は分かれてましたが、一丸となって泥臭く勝ちに行く姿、それを必死に支える姿は、観る人すべての心を震わせました。この大会を通し、先輩から後輩へと、竜北の熱い絆が確実に受け継がれたはずです。

惜しくもここで引退を迎える 3 年生の情熱は、次のステージへの確かな糧となります。どうぞ胸を張ってください。そして、見事に県大会への切符を掴み取った皆さん。仲間との一分一秒を大切に、北中の代表として、その「新しい景色」を存分に楽しんできてください。全校一同、心から応援しています。

壮行会の様子です



第1回竜王北中学校運営協議会開催

～保護者や地域の方々とともに～



5月29日に第1回竜王北中学校運営協議会を本校会議室で開催しました。これは、

家庭・地域・学校の代表者によって学校運営の方針や方法等について協議する会議です。学校運営協議会は、地域の声を取り入れ、学校と地域が連携して教育の質を向上させる場です。今回は、会議の前に給食試食会、各学級の授業を参観していただきました。会議では、子どもたちの様子や学校の抱える課題等について意見交換が

されました。今後、学園祭の参観等をしていただき、本校の子どもたちをどのように育てていくかを念頭に、教育活動に対して今ある活動を基に協議会でできることを探していくことになります。第2回目は11月開催予定です。

竜王北中学校運営協議会

会長

*敬称略

副会長

委員

奉仕作業を行いました

～ご協力ありがとうございました～

5月31日(日)、校地内で除草作業を行いました。本年度から担当学年を設定し、今回は3学年保護者で、今回39名の方々が参加してくださいました。また、生徒や卒業生も加わり、和やかな雰囲気の中で作業が進みました。45分の作業で校地はとてもきれいになりました。多くの手で根こそぎ雑草を除去したおかげで、これから雑草が生えにくくなることが期待されます。また、参加者の皆様に心から感謝申し上げます。次回の作業は2学年保護者が9月5日(土)、1学年は10月3日を予定しております。皆様の積極的な参加協力をお待ちしております



修学旅行で得たもの

5月号でお届けできなかった「修学旅行を終えて得たもの」として3年生の作文を一部紹介します。

私が修学旅行で得たものは、青蓮院の法話で聞いた「大切な五つの心」というものです。その中でも特に、「ありがとうございます」という感謝の心がしっかりと得られたと思います。感謝というのは一番大切で、一番身近にあるからこそ忘れがちなので、両親や友達、先生、そして私たちの生活のために使わせてもらっている自然への感謝も忘れずにしていこうと思いました。(〇〇)

私は、修学旅行で得たことは日程をしっかり把握しながら行動することです。一つ一つの行動が遅いと周りに迷惑をかけたりして日程がずれてしまいます。今回の修学旅行ではよくしおりを見ながら時間に余裕をもって行動するというような目標がありました。そのため自分は、周りと次何をするかなどの共有をして時間に遅れないようにしました。この得たことを学校の生活の中でも生かせるといいなと思います。(〇〇)

僕が修学旅行で得たものは、心の落ち着きです。例えば京都の庭園や五重塔、三重塔を見ている時は不安だったことや、悩んでいたことがずっと心の内から消えとてもすがすがしい気持ちになりました。他にも大仏さんや菩薩さんを拝見している時にも同じような気持ちになりました。日常生活でも同じような気持ちをもって生活していきたいと思いました。(〇〇)

私は、修学旅行で自ら物事を判断する力を得ることが出来ました。一日目の就寝時間前しおりを書いていてギリギリになって、しおりを書くのは寝る前でなく、お風呂に入る前やバス・タクシーの空き時間にやろうという判断や二日目の自由班で、学ぶより楽しむことが優先されてしまった時があり、その時には自分が楽しむことも大事だけれどしっかり学んでからにしようという声かけができて、この三日間で自ら物事を判断する力がついたと思いました。(〇〇)

心温まる、北中生の思いやり

15日(月)の朝、隣の竜王北小学校から大変嬉しいお電話をいただきました。「登校中にケガをしてしまった小学生に、中学校1年生の生徒2名(〇〇さん 〇〇さん)が優しく寄り添い、小学校まで無事に送り届けてくれました」という、感謝のご連絡でした。入学してまだ間もない1年生ですが、困っている人に自然と手を差し伸べられたその優しさと行動力は、北中の大きな誇りです。心優しい2人の行動に、心からの拍手を送ります。

■お願い

*お子様のことで何かありましたら学校へ連絡をお願いします。

その日の昼休みに校長室でお話をしました



●本校連絡先 甲斐市立竜王北中学校 〒400-0118 甲斐市竜王420
TEL 055-279-7200



※「本校HP」でも、各種の情報をお伝えしています。

※ 部活動に関して、欠席等の緊急連絡は、顧問の指示に従ってください。

本校HPはこちらからでも入れます。